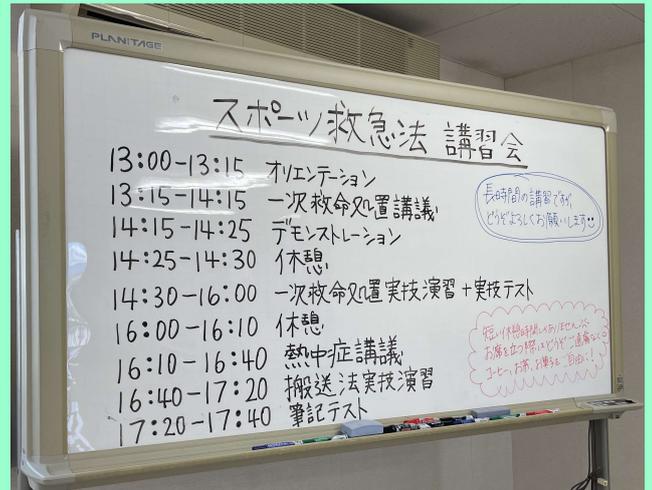


「スポーツ救急手当・プロバイダーコース」の講習会を開催しました

9月22日(水)と24日(金)の2日間、川平ATで常に指導している「公益財団法人日本スポーツ施設協会」の白坂広子氏を講師として、保健体育教員・運動部顧問等を対象とした救急法講習会を実施しました。内容は右写真のホワイトボードに記載しているものです。



具体的には、

- ① 救命蘇生法と救命の連鎖を学び、一次救命処置（胸骨圧迫，人工呼吸，AED操作）についての重点的な演習。
- ② 119番通報とAEDの調達を最優先とし、救助者が一人しかいない場面でも、まずはそれを優先すること。
- ③ 30回の胸骨圧迫と2回の人工呼吸とのワンセットで実施。
- ④ 人工呼吸を行うことに抵抗がある場合は、胸骨圧迫だけでも続けること。
- ⑤ 救助者自身の安全が最優先であり、周囲の安全確認と、出血等の感染可能性の危険性がないことを確認してから救助にあたる。
- ⑥ 無理だと思ったら、周囲に助けを求めて、患者を見守る。AEDを探す。など、患者に直接触れなくても最低限のことをして救急隊員の到着を待つこと。
- ⑦ 発見状況や患者の容態など、状況を説明できる者が必要。
- ⑧ 熱中症についての講義の後、運搬法の実技などを演習。
- ⑨ 最終的には実技試験と筆記試験を行い、全員合格となった。



《受講者の声》

部活動や体育授業の場面で、急な対応が求められることがあった場合、こういった訓練を繰り返し行っておくことで、咄嗟に冷静な判断をして行動できるようになる。大事な生徒を預かる身として、今回学んだことを忘れないようにしたい。



・仙台大学が取り組む国内最先端事業として「川平ATルーム」によるサポートがあり、高校スポーツの安全を守る活動に取り組んでいます。

<https://www.sendaidaigakukawadairaatr.com/>